

職員による自己評価

A環境面

・その日の状況によりスペースや配置人数の適切さが不十分であることがある。

B児童への支援内容

・一人ひとりに応じた活動内容になっている。  
 ・平日、休日、長期休暇に応じて活動内容を設定している。  
 ・職員間の情報共有や記録を取った上での支援内容の振り返りには課題がある。

・活動内容の固定化（選択肢の固定化）が見られる。

C関係機関との連携

・必要に応じて関係機関と連携を取っている。  
 ・自立支援協議会へ積極的に参加している。

D保護者への説明責任・信頼関係

・子どもの状況について保護者と共通理解を持つようにしている。  
 ・情報発信をしている。  
 ・保護者同士が会う機会が持てていない。

E非常対応

・研修が十分とは言えない。  
 ・各種マニュアルの周知に課題がある。

保護者による評価

A環境面

・活動スペースや職員配置については概ね満足。一定の広さがあるので楽しく過ごせている様子を感じている。

・安全配慮はある程度されているが、ドアに手を挟む心配がある。

・教具、教材については、何が置いてあるかが分からないとのご意見があった。

B児童への支援内容

・特性理解や活動内容、ニーズや課題の客観的分析による計画作成、面談や相談については、概ね良い評価。調理や買い物が良い。

・子どもが通所を楽しみにしていて、職員の対応に満足。信頼できる事業所。

・試食会や説明会は良い。

C事業所からの情報発信

・保護者への説明については満足。  
 ・活動内容の発信、家族へのお知らせ、個人情報への注意について、概ね満足。

D非常対応

・緊急対応の周知や防災対策については概ね満足。

事業所内での分析

【共通点】

- ・教具、教材等の備品については整理をし、分かりやすく提示することが必要である。
- ・活動内容等についての情報発信が概ね出来ている。
- ・家族との情報共有を行い、共通理解を持つことが出来ている。
- ・

【相違点】

- ・非常時の対策について、職員は研修の必要性、各種マニュアルの周知に課題があると感じている。
- ・活動内容について、職員は活動の選択肢が固定化していると感じている。
- ・スペースや配置人数について、職員は状況によって不十分さを感じることもある。
- ・職員の対応について家族からは評価をもらっているが、職員間の状況共有について職員は課題を感じている。

